i:VIRT M

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、必ずいつでも見られるところに保管してください。

はじめに

このたびは 、i:VIRT M（アイバート M）をお買い上げいただきまして 、まことにありがとうございます。
本製品は、Bluetooth によって本製品に対応した携帯電話と通信し、音声着信やメール受信などを画面表示と振動でお知らせする機能を持っています。本製品は音を出さないため、本製品で着信を確認すれば公衆マナーを守ることもでき、また着信を見のがすことも減らせます。携帯電話を活用するあなたにとって有能なパートナーとして、末永くご愛用ください。

●本製品は、日本国内専用モデルです。日本国内のみでご使用ください。時計の表示は日本語のみです。

●本製品は充電式の時計です。ご使用前に、充電（⇒ p.28）と時計をリセット（⇒ p.70）していただき、本製品の機能を十分に発揮できる状態にしてください。
●本製品との接続が確認されている携帯電話については、シチズン i:VIRT M ホームページ（http://citizen.jp/ivirtm/）をごらんください。
●本製品の Bluetooth による通信機能は、本取扱説明書に記載されている機能にのみ使用することを目的として設計されています。その他の目的にはご使用にならないでください。
●アイバート M の表示・動作についてはシチズン時計株式会社の製品として提供するものであり、移動体通信事業者および携帯電話メーカーの保証外となります。
●取扱説明書に不明な点がございましたら 、「 シチズンお客様時計相談室 」（⇒ p.84）までお問い合わせください 。
●機種により画面表示が異なる場合があります。

まず、はじめに設定すること

本製品をお使いになる前に、はじめに設定していただきたいことについてご説明します。

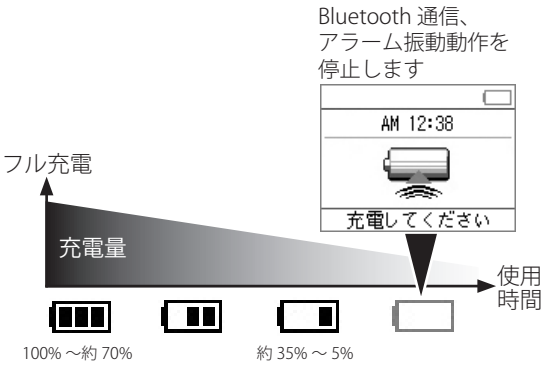
充電する---------- 28
時刻と日付を設定する ---------- 32
携帯電話と接続する ---------- 36

充電する

時計本体の内蔵電池を充電します。充電には、充電器とAC アダプタを使います。

バッテリー残量マークの見かた

バッテリーの残量が少なくなると、通信・アラーム動作ができなくなります。バッテリー残量マークの表示をチェックして、早めに充電してください。



バッテリーの持続時間

本製品はフル充電された状態から、通信・アラーム動作ができなくるまで、約 5 日間動作します。
使用条件の目安は次の通りです。

- 電話着信　：10 回着信および通話 / 日
- メール　：20 通受信および閲覧 / 日
- 速報ニュース　：100 通受信および閲覧 / 日
- バックライト点灯　：60 秒 / 日
- リモートシャッター　：10 回 / 日
- 携帯電話のアラーム通知　：1 回 / 日

バッテリーの充電時間

充電時間の目安は、電池切れの状態からフル充電まで、約 3 時間です。

充電する

⚠警告

●火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所、サウナや炎天下の車内などの高温になる場所、湿度やほこりの多い場所で使用しないで下さい。やけどや機器の故障、変形や変色の原因となります。
●AC アダプタをコンセントに差し込んだまま、AC アダプタのプラグをショートさせたり、手や指で触らないようにしてください。火災、感電、機器故障の原因となります。
●電源コードを加工したり、強くねじったり・引っ張ったり、その上に重い物を載せたりして傷つけないようにしてください。感電やショートによる火災の原因となります。
●コードが傷ついたままでの使用はしないでください。感電や発熱による火災の原因となります。
●ぬれた手で充電用機器やコンセントに触れないでください。感電するおそれがあります。
●充電中は、布や布団などで覆ったり包んだりしないでください。熱がこもって火災や故障の原因となります。
●充電中は、水がかからないようにしてください。もし水がかかったときは､直ちにコンセントから AC アダプタを抜いてください。感電や回路のショートによる発熱・火災、機器の故障の原因となります。

⚠警告

●充電中に煙が出たり、異臭がしたり、過剰に発熱、変形、変色するなどの異常が起きたら直ちに使用を中止してください。発火や破裂による傷害または故障の原因になります。
●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

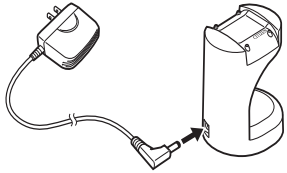
☆使用上のご注意

充電器および AC アダプタは防水構造ではありません。充電器に結露が起きたと思われるときは、約 2 時間室温で放置してください。結露とは、温度の低いところから急に温度の高いところへ持ち込んだとき、充電器の表面および内部に水滴がつくことです。結露したまま使用すると、充電器および AC アダプタの故障の原因になります。

⚠警告

●充電に使用する充電器、AC アダプタは、本製品のものをお使いください。本製品でないものを使用すると、発熱、発火、破裂などにより火災や機器の故障となるおそれがあります。

1 充電器のジャックに AC アダプタの接続プラグを差しこみます。

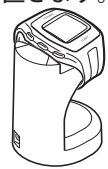


2 AC アダプタをコンセントに差し込みます。

⚠警告

● AC アダプタを使用するときは、根元まで確実に差し込んでください。差し込み方が不十分であると、感電や発熱・発火による火災の原因になります。
●指定した電源・電圧で使用してください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や充電用機器の故障の原因となります。

3 時計本体を充電器上部のプレートの中央に水平に置きます。



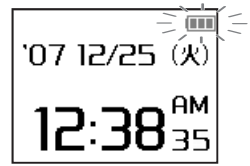
⚠警告

●雷が鳴り出したら、AC アダプタをコンセントから抜いてください。落雷による感電、充電用機器の故障のおそれがあります。
●充電器には本製品の時計本体以外のものをのせないでください。発熱や発火、機器の故障の原因となります。

Point

●時計本体を充電器にのせても表示が点灯しないときは、充電切れの可能性があります。時計をリセットしてください（⇒ p.70）。

充電が始まり、バッテリー残量マークが赤く点滅します。



Point

●充電が終わると、バッテリー残量マークが黒のフル充電表示となります。

⚠警告

●所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。電池の漏液、破裂、発熱、発火の原因となります。

4 充電が終了したら、時計本体を充電器から外します。

5 AC アダプタをコンセントから外します。

⚠警告

●長時間使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜いてください。発熱による火災や故障の原因となります。

時刻と日付を設定する

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●本製品の時刻と日付を携帯電話に合わせることができます。
1 回だけ合わせるときは「時刻・日付を携帯電話に合わせる」（⇒ p.69）、携帯電話と本製品に接続したときに、自動的に合わせるときは「時刻合わせを設定する」（⇒ p.49）をごらんください。

●設定中に電話着信があると着信中画面に、メールを受信すると時刻カレンダー画面に、携帯電話のアラーム通知があるとアラーム通知画面にそれぞれ切り替わります。この時、設定した内容は保存されません。速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、設定終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。

●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。この時、設定状態の解除前に入力した内容は保存されません。

時刻と日付を設定する

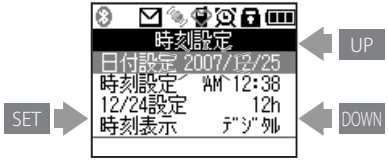
1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、時計設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、時刻設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

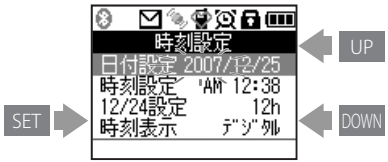
日付を設定する

1 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、日付設定を選択し、[SET] スイッチを押します。



年が点滅します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを押して年を設定し、[SET] スイッチを押します。



3 **1** ～ **2** と同様に、月と日を設定します。

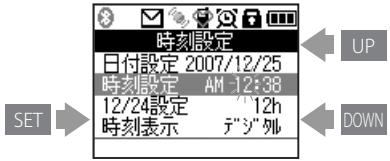
Point

●スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。

●2000 ～ 2099 年までの西暦と月日を設定すると、曜日は自動的に設定されます。

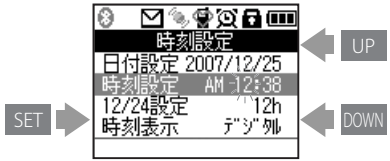
時刻を設定する

1 [UP] または [DOWN] スイッチを押して時刻設定を選択し、[SET] スイッチを押します。



時が点滅します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを押して時を設定し、[SET] スイッチを押します。



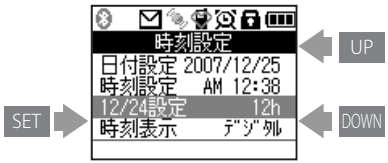
3 **1** ～ **2** と同様に、分を設定します。

Point

- ●時と分を設定し、最後に [SET] スイッチを押すと、00 秒から時刻がスタートします。
- ●スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。

12 時間制と 24 時間制を設定する

1 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、12/24 設定を選択し、[SET] スイッチを押します。

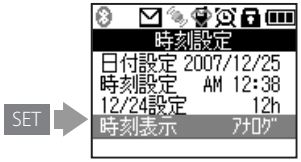


2 [SET] スイッチを押すと、12 時間制と 24 時間制が切り替わります。

時刻表示を設定する

1 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、時刻表示を選択し、[SET] スイッチを押します。

2 **[SET] スイッチを押すと、デジタルとアナログが切り替わります。**



時刻カレンダー画面に戻ると、表示が切り替わります。

うるう秒について

通常、一日は 24 時間（86400 秒）となっています。しかし、地球の回転によって発生する時刻の誤差を補正する目的で、1 秒挿入もしくは削除されるときがあり、これを「うるう秒」と呼びます。「うるう秒」が実施されたときには、標準時間に対して、時計が 1 秒進むもしくは遅れることになりますので、時刻を修正してください。

「うるう秒」は、世界各国の天文台の観測情報に基づき、英国のグリニッジ天文台を中心として、全世界一斉に実施されます。「うるう秒」の実施は、グリニッジ標準時で 12 月および 6 月（第 1 優先）、3 月および 9 月（第 2 優先）、必要とあれば任意の月の各末日とされており、いつ実施されるかは明確に決められていません。「うるう秒」が実施されるときには、少なくとも 8 週間前に官報公告されることになっていますので、新聞などでご確認ください。

携帯電話と接続する

Bluetooth に対応した携帯電話と本製品を接続し、本製品と携帯電話を連携させます。

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
●航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電波の発信を停止してください。搭載電子機器や医用電気機器に悪影響を与えるおそれがあります。
●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電波の発信を停止してください。電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれがあります（植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動車、自動ドアなど）。

☆使用上のご注意

●本製品は携帯電話との通信に Bluetooth を使っています。Bluetooth を搭載していて、本製品に対応した携帯電話とのみ通信できます。
●Bluetooth の操作は、携帯電話によって異なります。詳しい仕様や操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をごらんください。
●本製品は Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティに対応しておりますが、Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
●本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。
●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品と移動体識別用の構内無線局との間に電波干渉が発生したときには、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
●その他、本製品と特定小電力無線局との間に電波干渉が発生したときなど、ご不明な点につきましては、シチズンお客様時計相談室（⇒ p.84）へお問い合わせください。

携帯電話に本製品を登録する

1 **時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。**

Point

●時刻カレンダー画面で [ESC] スイッチを 2 秒以上押すと、接続待ち画面を直接表示できます。
ただし、時計を初期化（⇒ p.70）するまでは次回からは再接続画面が表示されます。

2 **[UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、Bluetooth 接続待ちマークを選択し、[SET] スイッチを押します。**

接続待ち画面が表示されます。

3 **携帯電話を操作して接続します。**

操作の前に

●この操作は、携帯電話で行います。携帯電話の操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をごらんください。

●接続が終了すると、接続完了画面が表示された後、時刻カレンダー画面に戻ります。

携帯電話の操作の一例

1 Bluetooth 接続メニューを選択します。

2 周辺デバイスの検索を行います。
3 機器一覧から、本製品を選択します。
4 本製品のパスキーを入力します。
5 ハンズフリー接続を選択し接続します。

Point

- 登録できる機器が複数表示されたときは、本製品のディスプレイに表示されるペットネームまたはパーソナルアドレスを、携帯電話から選んでください。
- 本製品のパスキーの初期値は「**1234**」です。
- 携帯電話と接続が完了すると、画面に「接続完了 !」と表示され、本体が振動し、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。
- 携帯電話と接続すると時刻カレンダー画面で「携帯電話との接続マーク」が表示されます。(⇒ P.22)

再接続する

本製品と携帯電話との接続が切れたときに、再度接続します。
携帯電話に本製品を登録した後、本製品と携帯電話の距離が離れたり、どちらかの電源が切れる、携帯電話または本製品から接続を解除するなどすると、本製品との接続が切れます。

操作の前に

- 携帯電話との接続を行ったことがないときは、再接続はできません。
- 携帯電話との接続を行ったことがあっても、初期化(⇒ p.70)をすると、一度携帯電話から接続をしないと、再接続はできません。
- 携帯電話を機種変更した時は、再接続はできません。携帯電話に本製品の登録(⇒ p.37)を行ってください。

Point

- 接続が切れると表示と振動で通知します。
- 本製品と携帯電話の接続が切れると、自動的には再接続されません。

1 **時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。**

Point

●時刻カレンダー画面で [ESC] スイッチを 2 秒以上押すと、再接続画面を直接表示できます。ただし、時計を初期化（⇒ p.70）すると Bluetooth 接続待ち画面が表示されます。

2 **[UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、Bluetooth 再接続マークを選択し、[SET] スイッチを押します。**

再接続確認画面が表示されます。

3 **[SET] スイッチを押します。**

接続処理中画面が表示されます。接続が完了すると、接続完了画面が表示されます。

携帯電話との接続を切断する

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

Point

●携帯電話と接続中に、時刻カレンダー画面で [ESC] スイッチを 2 秒以上押すと、**3** の切断画面を直接表示できます。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、「切断します」マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、切断画面を選択します。

4 [SET] スイッチを押します。
切断完了画面が表示されます。

携帯電話から本製品の登録情報を削除する

本製品を使用しなくなったときなど、携帯電話に登録された本製品の情報を削除するときは、携帯電話側で操作します。携帯電話の操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をごらんください。

はじめに

このたびは、i:VIRT M（アイバート M）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、Bluetooth によって本製品に対応した携帯電話と通信し、音声着信やメール受信などを画面表示と振動でお知らせする機能を持っています。本製品は音を出さないため、本製品で着信を確認すれば公衆マナーを守ることもでき、また着信を見のがすことも減らせます。携帯電話を活用するあなたにとって有能なパートナーとして、末永くご愛用ください。

●本製品は、日本国内専用モデルです。日本国内のみでご使用ください。時計の表示は日本語のみです。

●本製品は充電式の時計です。ご使用前に、充電（⇒ p.28）と時計をリセット（⇒ p.70）していただき、本製品の機能を十分に発揮できる状態にしてください。

●本製品との接続が確認されている携帯電話については、シチズン i:VIRT M ホームページ（http://citizen.jp/ivirtm/）をごらんください。

●本製品の Bluetooth による通信機能は、本取扱説明書に記載されている機能にのみ使用することを目的として設計されています。その他の目的にはご使用にならないでください。

●アイバート M の表示・動作についてはシチズン時計株式会社の製品として提供するものであり、移動体通信事業者および携帯電話メーカーの保証外となります。

●取扱説明書に不明な点がございましたら、「シチズンお客様時計相談室」（⇒ p.84）までお問い合わせください。

もくじ

安全のために ---------- 7

使用上およびその他のご注意 ---------- 14

- 個人情報の保護について ---------- 14
- パスキーについて ---------- 14
- 商標およびライセンスについて ---------- 14

Bluetooth について ---------- 15

- Bluetooth の概要 ---------- 15
- Bluetooth のご注意 ---------- 15
- Bluetooth の周波数について ---------- 16

本製品で利用できる携帯電話の機能 ---------- 17

本書の見かた ---------- 18

本製品の構成 ---------- 19

- 時計本体 ---------- 19
- 充電器 ---------- 19
- 専用 AC アダプタ ---------- 19
- 取扱説明書（本書） ---------- 19
- クイックマニュアル（別冊） ---------- 19
- 保証書（別冊） ---------- 19
- バンド調整工具（W715 のみ） ---------- 19

各部の名称とはたらき ---------- 20

- 時計本体 ---------- 20
- 充電器 ---------- 20
- 専用 AC アダプタ ---------- 20

W710（樹脂モデル）ベルト調整方法 ---------- 21

画面表示とメニューについて ---------- 22

- 時刻カレンダー画面 ---------- 22
- メニュー画面を表示する ---------- 23

パスキーを入力する ---------- 24

まず、はじめに設定すること

本製品をお使いになる前に、はじめに設定していただきたいことについてご説明します。

充電する ---------- 28
バッテリー残量マークの見かた ---------- 28
バッテリーの持続時間 ---------- 28
バッテリーの充電時間 ---------- 28
充電する ---------- 29

時刻と日付を設定する ---------- 32
時刻と日付を設定する ---------- 32
日付を設定する ---------- 33
時刻を設定する ---------- 33
12 時間制と 24 時間制を設定する ---------- 34
時刻表示を設定する ---------- 34
うるう秒について ---------- 35

携帯電話と接続する ---------- 36
携帯電話に本製品を登録する ---------- 37
再接続する ---------- 38
携帯電話との接続を切断する ---------- 40
携帯電話から本製品の登録情報を削除する ---------- 41

便利にお使いいただくために

本製品のさまざまな機能をご活用いただくための方法についてご説明します。

ガイダンス部に情報が表示されたとき ---------- 44
「着信あり」が表示されたとき ---------- 44
「新着メールあり」が表示されたとき ---------- 44
「新着速報ニュースあり」が表示されたとき ---------- 45

時計情報表示と振動許可 / 禁止切り替え ---------- 46

接続情報表示とマナー切り替え ---------- 47

その他の設定をする ---------- 49
本項で設定する項目 ---------- 49
その他の設定をする ---------- 51
ペットネームを設定する ---------- 51
セキュリティロックを設定する ---------- 52
パスキーを設定する ---------- 52
着信表示を設定する ---------- 53
時刻合わせを設定する ---------- 54
メール表示を設定する ---------- 54
振動許可 / 禁止を設定する ---------- 54

画面テーマを設定する---------- 54
アラームを設定する ----------55
アラーム設定時刻になったとき ---------- 55
アラームを設定する---------- 56
アラームの ON/OFF を設定する---------- 56
繰り返しの設定をする---------- 57
アラームの時刻を設定する---------- 57
携帯電話の着信に対応する ----------58
着信したときの表示---------- 59
着信表示を非表示に設定しているとき ---------- 59
着信表示を表示に設定しているとき ---------- 59
着信に対応する---------- 59
保留する---------- 59
拒否する---------- 60
ミュートする---------- 60
着信履歴を見る ----------61
メールを見る ----------63
速報ニュースを見る ----------65
マナーモードを設定する ----------66
携帯電話のアラームを受信する ----------67
カメラのシャッターをリモート操作する--------68
時刻・日付を携帯電話に合わせる----------69
データや設定を削除する ----------70
削除されるデータ---------- 70
項目を選択して削除をする---------- 71
リセットする---------- 72
初期化する---------- 72
初期設定一覧----------74

付録

トラブルや故障が起きたとき、本製品についてさらに知りたいときにごらんください。

本製品のお取り扱いについて ---------- 76
時計本体の防水性について ---------- 76
時計本体、充電器、専用 AC アダプタの使用、保管について ---------- 77
水分について ---------- 77
着脱時について ---------- 77
携帯時について ---------- 77
お手入れについて ---------- 78
温度について ---------- 78
磁気について ---------- 78
静電気について ---------- 78
ショックについて ---------- 78
化学薬品・ガス・水銀について ---------- 78
保管について ---------- 79

こんなときは ---------- 80

保証とアフターサービスついて ---------- 81
1. 保証について ---------- 81
2. 修理用部品の保有期間について ---------- 81
3. 修理可能期間について ---------- 81
4. ご転居・ご贈答品のとき ---------- 81
5. 定期点検（有償）について ---------- 81
6. その他お問い合わせについて ---------- 81

仕様 ---------- 83
本体 ---------- 83
充電器 ---------- 83
専用 AC アダプタ ---------- 83

お問い合わせ窓口 ---------- 84
シチズンお客様時計相談室 ---------- 84
お近くのお問い合わせ窓口 ---------- 84

安全のために

この取扱説明書では、本製品をお使いになる人やその他の人への危害、財産の損害を未然に防止するための注意事項を記載しています。
ご使用の前に、この取扱説明書の内容をよくお読みいただき、ご理解のうえ、それぞれの注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

■次の表示の区分は、表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠警告 **取り扱いを誤ったとき、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度**

⚠注意 **取り扱いを誤ったとき、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度**

■次の絵表示の区分は、危険の内容を説明しています。

指示を守らないと、感電の可能性があることを意味します

指示を守らないと、火災や発火、発煙の可能性があることを意味します

時計本体、充電器、AC アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

下記の注意を守らないと、火災や感電などによる死亡や重傷の原因となります。

●充電に使用する充電器、AC アダプタは、本製品のものをお使いください。
本製品でないものを使用すると、発熱、発火、破裂などにより火災や機器の故障となるおそれがあります。

●分解や改造をしないでください。
発火、感電などによる傷害または機器の故障の原因になります。

●落としたり、投げつけたりなど強い衝撃を与えないでください。
発熱や発火、機器の故障の原因となります。

●火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い所、サウナ、炎天下の車内などの高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用､保管､放置しないで下さい。
発火ややけど、機器の故障や変形、変色の原因となります。

●使用中､充電中､保管中に煙が出たり､異臭がしたり､過剰に発熱、変形、変色するなどの異常が起きたら直ちに使用を中止してください。
発火、感電などによる傷害または機器の故障の原因になります。

●充電中は、水がかからないようにしてください。もし水がかかったときは、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
感電や回路のショートによる発熱・発火、機器の故障の原因となります。

●電子レンジなどの電磁調理器、加熱調理機器や高圧容器などに、時計本体、充電器、専用 AC アダプタを入れないでください。
機器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

●本書に記載の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電池の漏液、破裂、発熱、発火の原因となります。

●一般のごみと一緒に捨てないでください。
発火や環境破壊の原因となります。詳しくは販売店かシチズンにお問い合わせ下さい。

時計本体の取り扱いについて

⚠ 警告

下記の注意を守らないと、死亡や重傷の原因となります。

●航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電波の発信を停止してください。
搭載電子機器や医用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電波の発信を停止してください。
電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれがあります（植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動車、自動ドアなど）。

●心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。
心臓に悪影響を与えるときがあります。心配があるときには、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。
注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

●お子様の手の届かない所に保管してください。
いたずらをしてけがなどの原因となります。

時計本体の取り扱いについて

⚠注意

下記の注意を守らないと、軽傷をおったり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

●幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。

●かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

●激しい運動や作業をするときは、ご自身や第三者のけがや事故防止のため、十分ご注意ください。

●着脱や調整の際に、バンドの中留めで爪や衣類を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

●ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚すときがあります。そのため、時計は常に清潔にしてください。

充電用機器（充電器、AC アダプタ）の取り扱いについて

⚠ 警告

下記の注意を守らないと、火災、感電による死亡や重傷の原因となります。

- **雷が鳴り出したら、専用 AC アダプタをコンセントから抜いてください。**
  落雷による感電、機器の故障のおそれがあります。
- **本書で指定した電源・電圧で使用してください。**
  指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や充電用機器の故障の原因となります。
- **専用 AC アダプタをコンセントに差し込んだまま、AC アダプタのプラグをショートさせたり、手や指で触らないようにしてください。**
  火災、感電、充電用機器の故障の原因となります。
- **充電中は、布や布団などで覆ったり包んだりしないでください。**
  熱がこもって、火災や機器の故障の原因となります。
- **ぬれた手で充電用機器やコンセントに触れないでください。**
  感電するおそれがあります。
- **コードが傷ついたままでの使用はしないでください。**
  感電や発熱による火災の原因となります。
- **ガソリンスタンドなど引火性ガスの存在するおそれのある場所では、使用しないでください。**
  ガスに引火して爆発や火災の原因となります。
- **専用 AC アダプタを使用するときは、根元まで確実に差し込んでください。**
  差し込み方が不十分であると、感電や発熱・発火による火災の原因になります。
- **充電に使用しないまま長時間通電状態にしないでください。**
  発熱による火災や故障の原因となります。
  長時間使用しないときは、専用 AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- **専用 AC アダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って引き抜いてください。**
  コードを引っ張るとコードの損傷によりショートし、感電や火災の原因となります。

充電用機器（充電器、AC アダプタ）の取り扱いについて

⚠ 警告

下記の注意を守らないと、火災、感電による死亡や重傷の原因となります。

●充電器には本製品の時計本体以外のものをのせないでください。
発熱や発火、機器の故障の原因となります。

●電源コードを加工したり、強くねじったり、引っ張ったり、その上に重い物を載せたりして傷つけないようにしてください。
感電やショートによる火災の原因となります。

●専用 AC アダプタのコードを束ねないでください。
発熱し、火災や機器の故障の原因となります。

充電用機器（充電器、AC アダプタ）の取り扱いについて

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、軽傷をおったり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

●充電は、安定した場所・状態で行ってください。

不安定な場所・状態ですると、機器が落下してけがをしたり、機器を破損するおそれがあります。

使用上およびその他のご注意

個人情報の保護について

●本製品は、氏名や電話番号などの個人情報を保存することができます。これらの情報の管理はお客様の責任のもとに行っていただきますようお願いします。万一、情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
●本製品を紛失したときなどに、着信履歴やメールの内容を見られないように、パスキーの機能をご活用ください（⇒ p.49）。
●本製品を譲渡するときなどは、あらかじめ着信履歴やメールのデータを削除してください（⇒ p.70）。

パスキーについて

●パスキーは、設定したご本人以外の人が、着信履歴やメールの閲覧、本製品の設定の変更等を行なえないようにするための暗証番号です。また、Bluetooth を使用して、携帯電話と本製品を接続するときには、携帯電話で入力する暗証番号（PIN コード）としても使用します。
●パスキーは、わかりやすい番号は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。
●パスキーを忘れると、本製品のさまざまな操作ができなくなります。パスキーは忘れないように注意してください。パスキーを忘れたときには初期化（⇒ p.70）してからご使用ください。

商標およびライセンスについて

●「S! 速報ニュース」はソフトバンク モバイル株式会社の商標または登録商標です
●Bluetooth は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。
●本製品は、米国 Open Interface North America 社製 Bluetooth プロトコルスタック BLUEmagic®3.0 を搭載しております。BLUEmagic は Open Interface North America, Inc. の登録商標です。

Bluetooth について

Bluetooth の概要

Bluetooth とは、音声やデータをデジタル周辺機器間でケーブルを使わずに通信する無線技術です。比較的狭い範囲であれば障害物があっても通信が可能です。消費電力が小さいため、内蔵している携帯電話も増えつつあります。携帯電話での Bluetooth の活用例としては、通話や音楽を聴くのためのワイヤレスのヘッドフォンなどがあります。

Bluetooth のご注意

●本製品の Bluetooth 機能は、日本国内でのみご使用ください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
●本製品と携帯電話は常に身近においてご使用ください。別々にご使用になると、Bluetooth 通信が切断され、ご利用できなくなります。
●本製品は、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティに対応しておりますが、Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
●本製品は携帯電話との通信に Bluetooth を使っています。Bluetooth を搭載していて、本製品に対応した携帯電話とのみ通信できます。
●Bluetooth による接続等の操作は、携帯電話によって異なります。詳しい仕様や操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をごらんください。
●本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。
●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
●万一、本製品と移動体識別用の構内無線局との間に電波干渉が発生したときには、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
●その他、本製品と特定小電力無線局との間に電波干渉が発生したときなど、ご不明な点につきましては、シチズンお客様時計相談室 (⇒ p.84) へお問い合わせください。

Bluetooth の周波数について

●本製品の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4	2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
FH	変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
1	想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
■■■	2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

●本製品ではハンズフリーサービスを拡張した機能により着信の通知を行います。

対応バージョン :Bluetooth 標準規格 Ver.1.2 準拠 ※1

対応プロファイル ※2

HFP（ハンズフリープロファイル）

※ 1 本製品およびすべての Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。また、本製品はハンズフリープロファイルを独自に拡張したものですので、これに対応した携帯電話のみに対応しています。

※ 2 Bluetooth の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

●機能設定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。よって、本製品を使用するときには無線局の免許は必要ありません。

また、本製品は以下のように電波法の定める技術標準認定も受けています。

認証機器名 :W710　TELEC 認証番号 :001WWCA1001
認証機器名 :W715　TELEC 認証番号 :001WWCA1005
認証機器名 :W716　TELEC 認証番号 :001WWCA1052
認証機器名 :W717　TELEC 認証番号 :001WWCA1083

従って、以下の行為をすると法律に罰せられることがあります。

・本製品を分解および改造する
・本製品裏面の認証番号を消す

本製品で利用できる携帯電話の機能

本製品の機能をご活用いただくためには、本製品に対応した携帯電話をお使いください。本製品では、携帯電話と連携した以下の機能をご利用いただけます。

- 電話着信通知
  - 振動通知
  - 着信者名表示
  - 応答保留
  - 着信拒否
  - 着信音ミュート
- 新着メール通知
  - 振動通知（2 秒間）
  - メール着信音ミュート
  - メール本文転送（全角 70 文字まで）
- 速報ニュース通知（全角 30 文字まで）
- マナーモード設定
- 時刻合わせ
- リモートシャッター
- 各種アラームミュート

本書の見かた

●本書では、機器を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを使用して説明しています。

●本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の機器とは異なるときがあります。

●本書において使用している説明書きの内容は、以下のようになっています。

使用上のご注意

操作、使用にあたって、お気をつけいただきたい内容、おぼえておいていただきたい内容を記載しています。

操作の前に

操作の概要や操作の前に必要な情報を記載しています。

Point

操作内容に関する補足説明を記載しています。

(⇒ p. ○○)

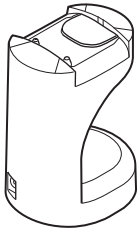
詳しく説明しているページ、参照いただきたいページを表しています。

本製品の構成

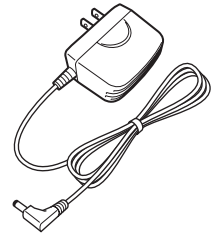
パッケージを開け、本製品の内容を確認してください。

時計本体

充電器



専用 AC アダプタ



取扱説明書（本書）

クイックマニュアル（別冊）

保証書（別冊）

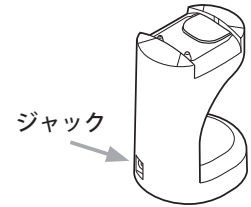
バンド調整工具（W715 のみ）

各部の名称とはたらき

時計本体

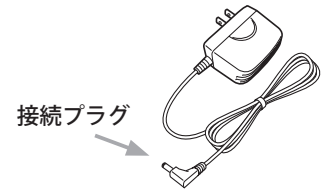
充電器

時計本体を充電するときに使います（⇒ p.28）。



専用 AC アダプタ

充電器に電源を供給します（⇒ p.28）。

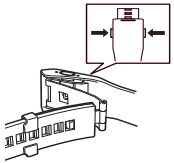


W710（樹脂モデル）ベルト調整方法

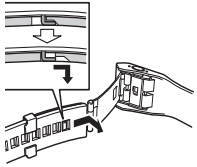
⚠注意

●着脱や調整の際に、バンドの中留めで爪や衣類を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

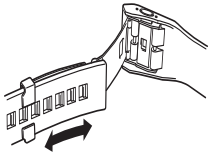
1 バックル部両側のボタンを押して、バックルを開きます。



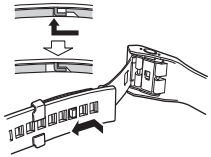
2 ベルトを（バックル側に）スライドさせ、フックから外します。



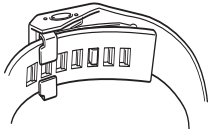
3 ベルトの長さを調節します。



4 ベルトをフックに引っ掛け、固定します。



5 腕に時計本体を通し、バックルを閉じて、長さを確認します。

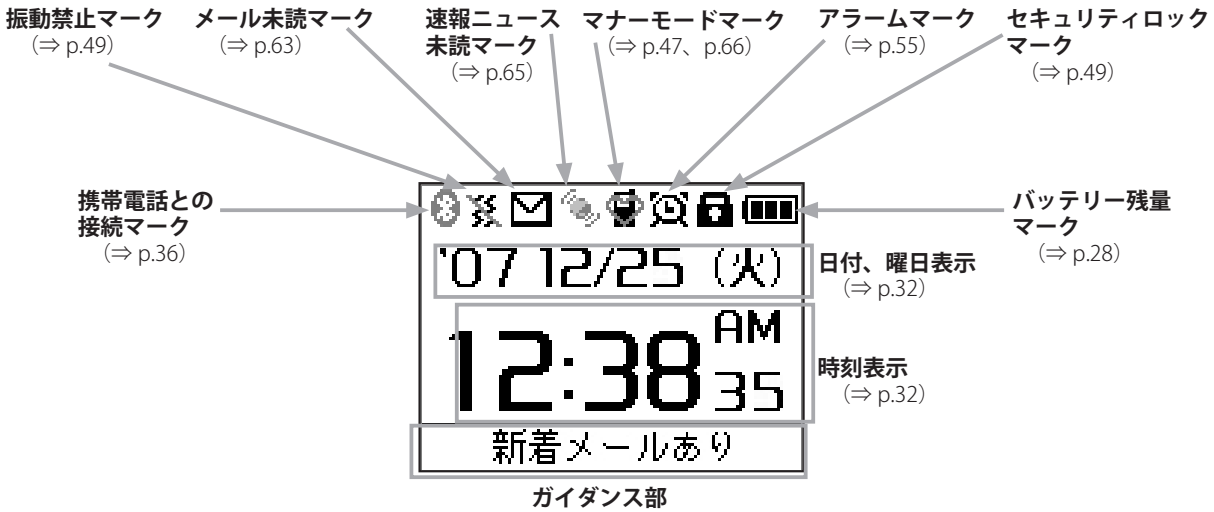


Point

●再調整が必要なときには、はじめから調整をやり直してください。

画面表示とメニューについて

時刻カレンダー画面



Point

●画面上部のマークは、設定が有効なときのみ表示されます。

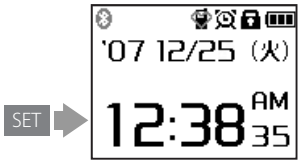
●ガイダンス部の表示は、着信、新着メール、新着速報ニュースがあったときに表示されます

メニュー画面を表示する

操作の前に

●メニュー画面を表示する前には、パスキーを入力します（⇒ p.24）。セキュリティロックが OFF に設定されているときは、パスキーを入力する必要はありません。また、セキュリティロックが ON でも、携帯電話と接続しているときは、パスキーを入力する必要はありません。

1 **時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押します。**



メニュー画面が表示されます。

2 **[UP] または [DOWN] スイッチを押します。**

着信履歴（⇒ p.61）→メール（⇒ p.63）→速報ニュース（⇒ p.65）→時計設定（⇒ p.32）→モード設定（⇒ p.66）→設定（⇒ p.49）→ Bluetooth 接続待ち（⇒ p.36）→再接続します（⇒ p.38）→データ削除（⇒ p.70）の順に設定メニューを選択できます。

パスキーを入力する

セキュリティロックが ON に設定されているときは、本製品のさまざまな設定を変更・入力する前に、パスキーを入力します。
パスキーは、設定したご本人以外の人が、着信履歴やメールの閲覧、本製品の設定の変更等を行なえないようにするための暗証番号です。

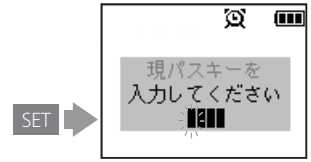
⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

Point

- ●初期設定ではセキュリティロックは OFF に設定されています。
- ●前の桁の数字を変更するときは、[ESC] スイッチを押します。さらに [ESC] スイッチを押すと、パスキー入力を終了して、パスキー入力前の画面に戻ります。
- ●本製品のパスキーの初期設定は「**1234**」です。
- ● [UP] または [DOWN] スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。

1 [SET] スイッチを押すと、最初の桁が点滅します。



2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、パスキーを入力します。

3 [SET] スイッチを押すと、次の桁が点滅します。

4 **1** ～ **3** **と同様に、4 桁まで入力します。**

Point

●パスキーを間違えたときは、**1** からやり直します。

●前の桁の数字を変更するときは、[ESC] スイッチを押します。さらに [ESC] スイッチを押すと、パスキー入力を終了して、パスキー入力前の画面に戻ります。

便利にお使いいただくために

本製品のさまざまな機能をご活用いただくための方法についてご説明します。

ガイダンス部に情報が表示されたとき---------- 44
時計情報表示と振動許可 / 禁止切り替え ---------- 46
接続情報表示とマナー切り替え ---------- 47
その他の設定をする ---------- 49
アラームを設定する ---------- 55
携帯電話の着信に対応する ---------- 58
着信履歴を見る ---------- 61
メールを見る ---------- 63
速報ニュースを見る ---------- 65
マナーモードを設定する ---------- 66
携帯電話のアラームを受信する ---------- 67
カメラのシャッターをリモート操作する---------- 68
時刻・日付を携帯電話に合わせる---------- 69
データや設定を削除する ---------- 70
初期設定一覧 ---------- 74

ガイダンス部に情報が表示されたとき

画面下部のガイダンス部に情報が表示されているときに[SET] スイッチを押すと、それぞれの画面を直接表示できます。

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●着信、新着メール、新着速報ニュースが同時にあったときは、着信と新着メールのうち最新のものからガイダンスメッセージを表示し、新着速報ニュースは、着信と新着メールのガイダンスメッセージ消去後に表示されます。
着信応答やリモートシャッター（⇒ p.68）の操作中に、新着メールを受信したときは、バックグラウンドで受信し、操作終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。
時刻カレンダー画面以外で速報ニュースを受信したときは、バックグラウンドで受信し、時刻カレンダー画面に戻ったときにガイダンス部にお知らせを表示します。

Point

● [ESC] スイッチを押すと、ガイダンス表示が消えます。

「着信あり」が表示されたとき

■ [SET] スイッチを押します。

着信履歴（⇒ p.61）が表示されます。

「新着メールあり」が表示されたとき

■ [SET] スイッチを押します。

メール一覧（⇒ p.63）が表示されます。

「新着速報ニュースあり」が表示されたとき

■ [SET] スイッチを押します。

この画面で [SET] スイッチを押すと、速報ニュースが表示されます。また、[ESC] スイッチを押すとガイダンス表示が消去されます。

時計情報表示と振動許可 / 禁止切り替え

本製品の情報を表示し、また各種のお知らせをするときに、本製品を振動させるかどうかを設定します。

⚠ 警告

●心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。急に振動して驚くと、心臓に悪影響を与えるときがあります。心配があるときには、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。

操作の前に

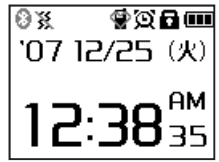
●振動許可 / 禁止の設定は、「振動許可 / 禁止を設定する」（⇒ p.49）でも行えます。

1 **時刻カレンダー画面で [UP] スイッチを押します。**

時計情報が表示されます。

2 **[UP] スイッチを 2 秒以上押し続けます。**

振動許可 / 禁止の設定が切り替わります。
振動禁止になると、時刻カレンダー画面に振動禁止マークが表示されます。



Point

●設定を元に戻すときは、もう一度同じ操作をします。

接続情報表示とマナー切り替え

接続情報を表示し、また、本製品と接続している携帯電話をマナーモードに設定します。

⚠警告

●心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。急に振動して驚くと、心臓に悪影響を与えるときがあります。心配があるときには、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。
●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●この操作では、マナーモードへの切り替えを行います。マナーモードの解除はできません。
●マナー切り替えは、「マナーモードを設定する」（⇒p.66）でも行えます。
●電波状態は、携帯電話の電波状態が圏内か圏外かをお知らせします。アンテナの本数は表示されません。

1 時刻カレンダー画面で [DOWN] スイッチを押します。

接続情報が表示されます。

2 [DOWN] スイッチを 2 秒以上押し続けます。

本製品と接続している携帯電話がマナーモードに切り替わります。

マナーモードになると、時刻カレンダー画面にマナーモードマークが表示されます。

その他の設定をする

⚠警告

●心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。急に振動して驚くと、心臓に悪影響を与えるときがあります。心配があるときには、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。
●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●設定中に電話着信があると着信中画面に、メールを受信すると時刻カレンダー画面に、携帯電話のアラーム通知があるとアラーム通知画面にそれぞれ切り替わります。この時、設定した内容は保存されません。速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、設定終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。
●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。この時、設定状態の解除前に入力した内容は保存されません。

本項で設定する項目

・ペットネーム

本製品を他の Bluetooth 機器と区別するため、本製品につける名称を設定します。
ペットネームには、最長 16 桁の半角英数字です。ペットネームの初期設定「iVIRT W71」です。

・パスキー

パスキーを設定します。パスキーは、設定したご本人以外の人が、着信履歴やメールの閲覧、本製品の設定の変更等を行なえないようにするための暗証番号です。
パスキーは、4 桁の数字です。パスキーの初期設定は「**1234**」です。またパスキーは、携帯電話と Bluetooth 通信をするときに必要な、PIN コードとしても使用します。

☆使用上のご注意

●本製品は、氏名や電話番号などの個人情報を保存することができます。これらの情報の管理はお客様の責任のもとに行っていただきますようお願いします。万一、情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

●個人情報保護の観点から、できるだけセキュリティロックを設定してください。
●パスキーは、わかりやすい番号は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。
●パスキーを忘れると、本製品のさまざまな操作ができなくなります。パスキーは忘れないように注意してください。パスキーを忘れてしまったときは、全ての設定を初期化し（⇒ p.70）、設定を工場出荷状態に戻してご使用ください。

操作の前に

●本製品と携帯電話が接続されていると、設定はできません。設定をする前に、携帯電話を操作して、本製品と携帯電話の接続を切断してください。

- **着信表示**

  電話が着信したときに、発信者名と電話番号を表示するかどうかを設定します。

- **時刻合わせ**

  携帯電話と本製品を接続したときに、本製品の時刻と日付を携帯電話に自動的に合わせます。

- **メール表示**

  メールを一覧表示したとき、表題に表示する項目を設定します。選択できる項目は「差出人」「件名」です。

- **振動許可 / 禁止**

  本製品の振動機能の許可 / 禁止を設定します。禁止に設定すると、携帯電話の着信通知やアラーム通知時に、本製品は振動しません。

- **画面テーマ**

  本製品の画面表示のパターンを設定します。White / Green / Pink / Blue / Black の 5 種類の画面テーマから選択できます。

その他の設定をする

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、設定する項目を選択し、[SET] スイッチを押します。

ペットネームを設定する

Point

●スイッチを押すたびに下記のように入力できる文字の種類が変わります。

（ブランク）→数字→アルファベット小文字→アルファベット大文字

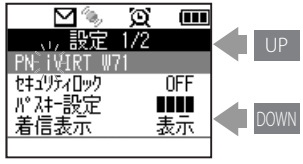
●設定の途中で、変更中の設定を保存せずに終了するときは、[ESC] スイッチを何回か押します。

●前の桁の文字を変更するときは、[ESC] スイッチを 1 回押すと、1 つ前の桁の文字が修正できます。

● [UP] または [DOWN] スイッチを押したままにすると、文字が早く切り替わります。

1 [SET] スイッチを押すと、最初の桁が点滅します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、ペットネームを変更します。



3 [SET] スイッチを押すと、次の桁が点滅します。

4 **1** ～ **3** と同様に、16 桁まで入力します。

セキュリティロックを設定する

[SET] スイッチを押すと、表示 / 非表示が切り替わります。

パスキーを設定する

Point

- 設定の途中で、変更中の設定を保存せずに終了するときは、[ESC] スイッチを何回か押します。
- 前の桁の文字を変更するときは、[ESC] スイッチを 1 回押すと、1 つ前の桁の文字が修正できます。
- [UP] または [DOWN] スイッチを押したままにすると、文字が早く切り替わります。

1 [SET] スイッチを押します。

画面が切り替わり、最初の桁が点滅します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、現在のパスキーの最初の桁を入力します。

Point

●本製品のパスキーの初期設定は「**1234**」です。

3 [SET] スイッチを押すと、次の桁に移動します。

4 **2** ～ **3** と同様に、4 桁まで入力します。

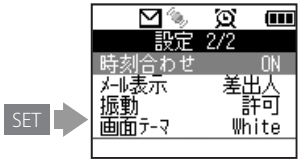
5 **2** ～ **3** と同様に、新しいパスキーを 4 桁まで入力します。

着信表示を設定する

■ [SET] スイッチを押すと、表示 / 非表示が切り替わります。

時刻合わせを設定する

■ [SET] スイッチを押すと、ON/OFF が切り替わります。

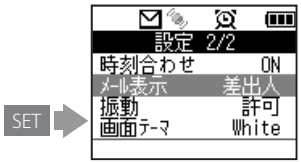


Point

●時刻合わせを ON にすると、携帯電話との接続時に自動的に携帯電話の日時が本製品に設定されます。

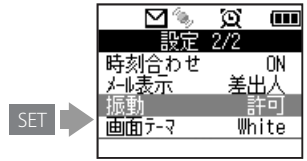
メール表示を設定する

■ [SET] スイッチを押すと、着信表示のメール一覧の表示を、差出人にするか件名にするかを選択します。



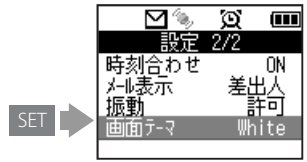
振動許可 / 禁止を設定する

■ [SET] スイッチを押すと、振動の許可 / 禁止 が切り替わります。



画面テーマを設定する

■ [SET] スイッチを押すと、White / Green / Pink / Blue / Black の順に画面テーマが切り替わります。



アラームを設定する

本製品のアラームを設定します。アラーム時刻は振動でお知らせします。

⚠警告

●心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。急に振動して驚くと、心臓に悪影響を与えるときがあります。心配があるときには、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。
●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●設定中に電話着信があると着信中画面に、メールを受信すると時刻カレンダー画面に、携帯電話のアラーム通知があるとアラーム通知画面にそれぞれ切り替わります。この時、設定した内容は保存されません。速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、設定終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。
●アラームの設定中に、アラーム時刻になったときは通知しません。
●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。この時、設定状態の解除前に入力した内容は保存されません。
●設定できるアラームの件数は 1 件です。

アラーム設定時刻になったとき

アラームマークを点滅させながら、振動でアラーム時刻を通知します。

Point

●アラーム時刻になると約 20 秒間振動します。
●アラーム通知中にいずれかのスイッチを押すとアラーム通知が停止します。
●下記の状態ではアラーム通知しません。
日付設定中 / 時刻設定中 / アラーム設定中 / 時刻合わせ中 / メール受信中 / 速報ニュース受信中 / 振動禁止中 / 電話着信中 / 電話保留中 / 電話通話中 / 電話切断中 /Bluetooth 接続・切断中 /Bluetooth 再接続中 / リンク切れ！画面表示中 / データ削除中 / パスキー入力および設定中 / リモートシャッター画面中 / 携帯電話からのアラーム中 / ペットネーム設定中 /「充電してください」画面表示中

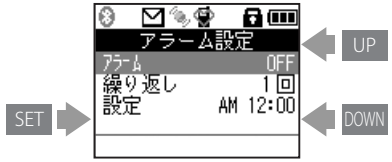
アラームを設定する

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、時計設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

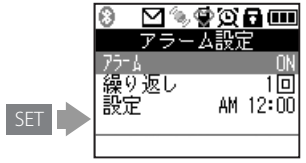
3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、アラーム設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

4 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、設定する項目を選択し、[SET] スイッチを押します。



アラームの ON/OFF を設定する

■ [SET] スイッチを押すと、ON/OFF が切り替わります。

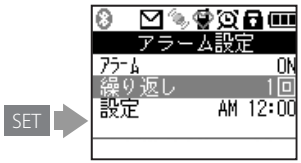


繰り返しの設定をする

■ [SET] スイッチを押すと、1 回 / 毎日が切り替わります。

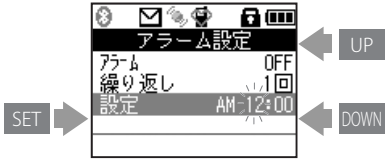
1 回：1 回のみアラーム通知します

毎日：設定時刻に毎日アラーム通知します



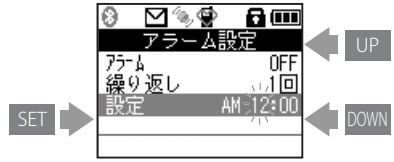
アラームの時刻を設定する

1 [UP] または [DOWN] スイッチを押して設定を選択し、[SET] スイッチを押します。



アラームの ON/OFF が自動的に ON に切り替わり、時が点滅します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを押して時を設定し、[SET] スイッチを押します。



3 **1** ～ **2** と同様に、分を設定します。

Point

●スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。

携帯電話の着信に対応する

携帯電話に電話の着信があったとき、本製品で応答、保留、切断などの操作ができます。通話は本製品と接続された携帯電話で行います。

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
●航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電波の発信を停止してください。搭載電子機器や医用電気機器に悪影響を与えるおそれがあります。
●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電波の発信を停止してください。電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれがあります（植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動車、自動ドアなど）。

操作の前に

●本製品を操作しなくても、携帯電話を操作すれば通話できます。
●携帯電話に保留の機能がないときは保留できません。
●着信時に、本製品に発信者名および電話番号が表示される前に保留・切断を行うと、着信履歴に発信者名が正しく表示されないことがあります。また、本製品に発信者名および電話番号が表示される前に携帯電話側で保留・通話・切断操作を行うと、着信履歴に発信者名が正しく表示されないことがあります。これは携帯電話から発信情報を受け取る前に、本製品または携帯電話の操作によって発信者情報通知が中断されるためです。

着信したときの表示

着信表示を非表示に設定しているとき

●発信元は表示されません。
●いずれかのスイッチを押すと、発信元が表示されます。

着信表示を表示に設定しているとき

●発信元が表示されます。

Point

●電話が着信したときに、発信者名を表示するかどうかを設定するときは「着信表示を設定する」(⇒ p.49)をごらんください。

着信に対応する

保留する

1 **着信中に [SET] スイッチを押します。**

画面に「保留中」と表示され、通話が保留状態になります。

2 **携帯電話の通話ボタンを押します。**
本製品と接続された携帯電話で通話できます。

Point

●保留中に [ESC] スイッチをしばらく押すと、通話を拒否できます。

拒否する

着信中または保留中に [ESC] スイッチをしばらく押します。

画面に「切断中」と表示され、通話を拒否します。

ミュートする

着信中に [DOWN] スイッチを押します。

本製品と接続された携帯電話の着信音がミュートされます。

着信履歴を見る

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

☆使用上のご注意

●個人情報保護の観点から、この機能を使う前に、できるだけセキュリティロックを設定してください。
●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻りますが、個人情報保護の観点から、できるだけすぐに、[ESC] スイッチを押して時刻カレンダー画面を表示することをお勧めします。

操作の前に

●着信履歴は 10 件まで保存されます。10 件以上の着信履歴があると、古いものから順に削除されます。
●着信履歴がないときは、着信履歴は表示されません。
●表示中に電話、メール、速報ニュースの着信があると、着信が優先され、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。
メールと速報ニュースはバックグラウンドで受信し、受信を終了すると時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。また、メールの受信を終了すると、本体が振動します。
●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、着信履歴マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

着信履歴の一覧が表示されます。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、詳細を表示する項目を選択し、[SET] スイッチを押します。

着信履歴の詳細が表示されます。

メールを見る

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

☆使用上のご注意

●個人情報保護の観点から、この機能を使う前に、できるだけセキュリティロックを設定してください。
●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻りますが、個人情報保護の観点から、できるだけすぐに、[ESC] スイッチを押して時刻カレンダー画面を表示することをお勧めします。

操作の前に

●メールがないときは、メールは表示されません。
●メールは 10 件まで保存されます。10 件以上のメールがあると、古いものから順に削除されます。
●メール受信時に「SET」「UP」「DOWN」「ESC」スイッチのいずれかを押すと、携帯電話のメール着信音または振動を停止できます。
●本製品は、携帯電話の絵文字に対応しています。携帯電話の機種により、本製品と携帯電話の絵文字の表示が異なることがあります。アニメーション絵文字には対応していません。
●表示中に電話、メールの着信があると、着信が優先され、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。
速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、表示終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。
●表示中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。
●携帯電話の新着問い合わせ操作により受信したメールは、本製品では受信されないため、表示できません。

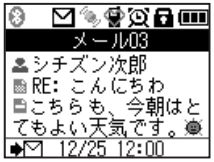
1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、メールマークを選択し、[SET] スイッチを押します。

メールの一覧が表示されます。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、詳細を表示する項目を選択し、[SET] スイッチを押します。

メールの詳細が表示されます。



Point

●携帯電話側でシークレットフォルダへの振り分けを設定しているメールは、差出人電話番号またはアドレスが表示されます。件名、本文は表示されません。

●表示できる内容は、件名、本文合わせて全角 70 文字までです。

速報ニュースを見る

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

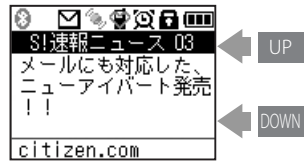
●表示できる速報ニュースは、「速報コンテンツ」のみです。
●本製品の速報ニュースは、携帯電話と接続した状態で、携帯電話側で速報ニュースが更新されたときに更新されます。更新のタイミングは携帯電話側に依存します。
●速報ニュースは 15 件まで受信できます。新しい速報ニュースを受信すると、古い速報ニュースは全て削除されます。
●速報ニュースを受信していないときは、速報ニュースは表示されません。
●表示中に電話、メールの着信があると、着信が優先され、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。
速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、表示終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。
●表示中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、速報ニュースマークを選択し、[SET] スイッチを押します。

速報ニュースの内容が表示されます。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを押すと、表示する速報ニュースが切り替わります。



Point

●表示できる内容は、全角 30 文字までです。

マナーモードを設定する

本製品と接続している携帯電話のマナーモードを設定します。

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

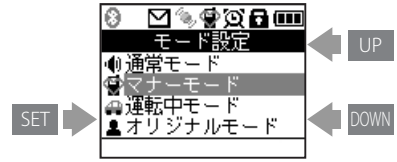
操作の前に

- ●設定中に電話着信があると着信中画面に、メールを受信すると時刻カレンダー画面に、携帯電話のアラーム通知でアラーム通知画面にそれぞれ切り替わります。速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、設定終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。
- ●設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に時刻カレンダー画面に戻ります。

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、モード設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、マナーモードの種類を選択し、[SET] スイッチを押します。



携帯電話のマナーモードが切り替わります。

携帯電話のアラームを受信する

携帯電話で設定したアラームやキッチンタイマーなどを受信して振動します。

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

- ●本製品の振動時間は、携帯電話での設定によります。
- ●本製品のアラーム中でも携帯電話からのアラームが優先されます
- ●本製品が下記の状態であっても、携帯電話からのアラーム通知が優先され、アラーム通知後は時刻カレンダー画面に戻ります。
  日付設定中 / 時刻設定中 / アラーム設定中 / 時刻合わせ中 / メール受信中 / 速報ニュース受信中 / 振動禁止中 / 電話着信中 / 電話保留中 / 電話通話中 / 電話切断中 /Bluetooth 接続・切断中 /Bluetooth 再接続中 / リンク切れ！画面表示中 / データ削除中 / パスキー入力および設定中 / リモートシャッター画面中 / 携帯電話からのアラーム中 / ペットネーム設定中 /「充電してください」画面表示中

■ 携帯電話のアラームを受信すると、本製品の画面が自動的にアラーム受信画面に切り替わり、振動します。

[SET][UP][DOWN][ESC] スイッチのいずれかを押すと、本製品の振動は止まり、時刻カレンダー画面に戻ります。

カメラのシャッターをリモート操作する

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

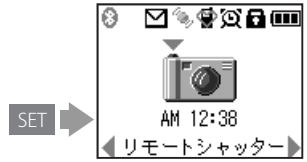
操作の前に

●操作中に電話の着信があると、着信画面に切り替わり、通話終了後にリモートシャッター画面に戻ります。
メール、速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、操作終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。

● [ESC] スイッチを押すか、携帯電話側でカメラモードを解除すると、時刻カレンダー画面に戻ります。

1 携帯電話を操作して、カメラに切り替えます。
本製品の画面が、自動的にリモートシャッター画面に切り替わります。

2 [SET][DOWN] スイッチのいずれかを押します。



携帯電話のカメラのシャッターが切れます。

時刻・日付を携帯電話に合わせる

⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●設定中に電話着信があると着信中画面に、メールを受信すると時刻カレンダー画面に、携帯電話のアラーム通知でアラーム通知画面にそれぞれ切り替ります。速報ニュース着信時は、バックグラウンドで受信し、設定終了後、時刻カレンダー画面のガイダンス部にお知らせを表示します。

●この機能を使う前に、本製品と携帯電話を接続してください。本製品と携帯電話を接続する方法については「携帯電話と接続する」（⇒ p.36）をごらんください。

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、時計設定マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

3 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、時刻合わせマークを選択し、[SET] スイッチを押します。

時刻合わせが始まります。

データや設定を削除する

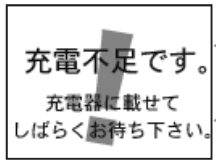
⚠警告

●自動車などを運転中に操作したり画面を注視しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

操作の前に

●データを削除するときは、比較的大きな電力が必要です。フル充電してから操作するか、できれば充電器上で操作することをおすすめします。充電器の取り扱いについては、充電する（⇒ p.28）をごらんください。

●充電が不足しているとリセット操作を完了できないことがあります。リセットの途中で動作が停止し、下の画面が表示されたときは、充電不足ですので、十分に充電されるまでしばらくお待ちください。充電されると自動的にリセット動作を完了します。



削除されるデータ

データを削除する操作の種類と、削除されるデータは次のとおりです。「データ削除」では、選択した項目のみ削除します。初期化では、本製品を工場出荷状態（初期設定一覧⇒ p.74）に戻し、本製品に保存されているすべての設定とデータを削除します。

データ　操作	データ削除 ⇒ p.71	リセット ⇒ p.72	初期化 ⇒ p.72
ペットネーム（⇒ p.49）			削除
セキュリティロック設定（⇒ p.49）			削除
パスキー（⇒ p.49）			削除
着信表示設定（⇒ p.49）			削除
時刻合わせ設定（⇒ p.49）		削除	削除
メール表示設定（⇒ p.49）		削除	削除
振動許可 / 禁止設定（⇒ p.49）		削除	削除
画面テーマ設定（⇒ p.49）		削除	削除
日付時刻データ（⇒ p.32）		削除	削除
アラーム設定（⇒ p.55）		削除	削除
着信履歴（⇒ p.61）	削除	削除	削除
メール（⇒ p.63）	削除	削除	削除
速報ニュース（⇒ p.65）	削除	削除	削除

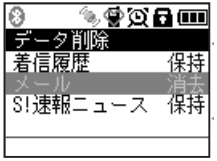
項目を選択して削除をする

1 時刻カレンダー画面で [SET] スイッチを押して、設定メニューを表示します。

2 [UP] または [DOWN] スイッチを何度か押して、データ削除マークを選択し、[SET] スイッチを押します。

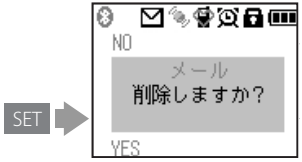
3 [UP] または [DOWN] スイッチを押して、項目を選択します。

4 [SET] スイッチを押します。



「削除しますか？」というメッセージが表示されます。

5 [SET] スイッチを押します。



データが削除されます。

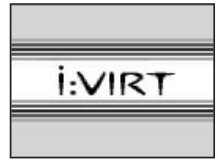
リセットする

1 [SET][ESC][UP][DOWN] スイッチを同時に押します。

しばらくすると画面が暗転します。

2 [SET][ESC][UP][DOWN] スイッチのいずれかを押します。

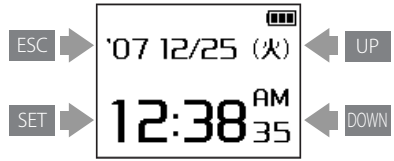
起動画面が表示されます。



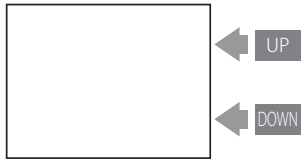
時刻カレンダーが表示されると、リセットは終了です。

初期化する

1 [SET][ESC][UP][DOWN] スイッチを同時に押します。

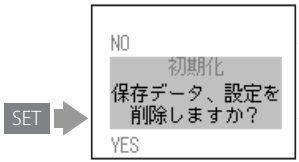


2 **[UP][DOWN] スイッチを押したまま、[SET][ESC] スイッチを離して 5 秒以上待ちます。**



「保存データ、設定を削除しますか ?」というメッセージが表示されます。

3 **[SET] スイッチを押します。**



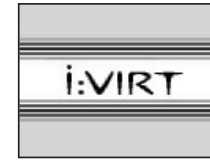
しばらくすると画面が暗転します。

Point

●初期化を中止したいときは、[ESC] スイッチを押します。

4 **[SET][ESC][UP][DOWN] スイッチのいずれかを押します。**

起動画面が表示されます。



時刻カレンダーが表示されると、初期化は終了です。

初期設定一覧

初期設定は以下の通りです。初めてご使用になるとき、設定の初期化を行ったときには、必要な項目を設定の上、ご使用ください。

日時　(W710 / W715) : 2007/ 1/ 1（月）AM12:00 00
(W716) : 2008/ 1/ 1 TUE AM12:00 00
(W717) : 2009/ 1/ 1 THU AM12:00 00
(W718) : 2010/ 1/ 1 FRI AM12:00 00
12/24 時間設定　: 12 時間制
時刻カレンダー表示　: デジタル
アラーム　: OFF
アラーム設定時刻　: AM12:00
アラーム繰り返し　: 1 回
ペットネーム　: iVIRT W71
セキュリティロック　: OFF
パスキー　: 1234
着信表示　: 表示
時刻合わせ　: ON
メール表示　: 差出人
振動許可 / 禁止　: 許可
画面テーマ
(W710 / W715) : White
(W716 / W717 / W718) : Black

付録

トラブルや故障が起きたとき、本製品についてさらに知りたいときにごらんください。

本製品のお取り扱いについて ---------- 76
こんなときは ---------- 80
保証とアフターサービスついて ---------- 81
仕様 ---------- 83
お問い合わせ窓口 ---------- 84

本製品のお取り扱いについて

時計本体の防水性について

- 時計の裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
- WATER RESIST（ANT）××bar は W.R.××bar と表示していることがあります。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用は出来ません。
- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）などには使用できません。

機種	名称	使用例		仕様	使用例				
		文字板	ケース（裏ぶた）						
					水がかかる程度の使用（洗顔、雨など）	水仕事や、一般水泳に使用	スキンダイビング、マリンスポーツに使用	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用	水滴がついた状態でのボタンの操作
W710	日常生活用防水時計	無表示	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
W715〜	日常生活用強化防水時計	WATER RESIST 5bar または無表示	WATER RESIST (ANT) 5bar または WATER RESIST (ANT)	5 気圧防水	○	○	×	×	×

時計本体、充電器、専用 AC アダプタの使用、保管について

水分について

●水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となるときがあります。
●万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えない時はそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社サービスセンターへ修理、点検を依頼してください。
●時計内部に海水が入ったときは、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、ボタンなど）が外れる危険があります。

着脱時について

⚠注意

●着脱や調整の際に、バンドの中留めで爪や衣類を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

携帯時について

⚠注意

●かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
かぶれの原因は、
1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

⚠注意

●幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。

⚠注意

●激しい運動や作業をするときは、ご自身や第三者のけがや事故防止のため、十分ご注意ください。

⚠警告

●火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い所、サウナ、炎天下の車内などの高温になる場所、湿気やほこりの多い場所では、使用、保管、放置しないで下さい。発火やけど、機器の故障、変形や変色の原因となります。

●ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなるときがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用するときはご注意ください。

お手入れについて

●ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚すときがあります。そのため、時計は常に清潔にしてください。
●汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
●バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
●バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
●溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

温度について

● 0℃～ 50℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

磁気について

●磁気には近づけないでください。磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると正しい時刻を表示しないことがあります。このときは磁気から離して時刻修正をしなおしてください。

静電気について

●クオーツウオッチに使われている IC は、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると正しい時刻を表示しないことがありますのでご注意ください。

ショックについて

●床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について

●化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するも

の（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こすときがあります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について

●長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

こんなときは

現象	考えられる原因	対処方法	参照ページ
表示が点灯しない	充電不足により動作が停止している	本製品を充電器に装着した状態で、リセット操作をしてください	p.70
操作ができない	充電不足により、機能制限が作動している	本製品を充電器に装着し、十分に充電をしてください	p.28
設定のリセットが完了できない		本製品を充電器に装着し、十分に充電をしてください。自動的に設定リセットが完了します。	
充電ができない	本製品が充電器に正しく装着されていない	本書の内容をごらんになり、正しく装着してください	p.28
	AC アダプタや充電器の接続が正しくない	本書の内容をごらんになり、正しく接続してください	
振動しない	振動が禁止されている	本書の内容をごらんになり、振動を許可してください	p.49
携帯電話と接続できない（ハンズフリー接続できない）	他の無線機器と電波干渉している	使用場所を変えてご使用ください	—
	別の Bluetooth 機器に接続しようとしている	お使いの本製品のペットネームとパーソナルアドレスを確認の上、携帯電話側で正しく接続してください	p.36
	PIN コード入力を間違えている	携帯電話側で正しい PIN（本製品のパスキー）コードを入力してください	p.36
パスキーを忘れてしまった		全ての設定を初期化してください	p.70

保証とアフターサービスついて

1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じたときには、保証書に従い無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

弊社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただくときがありますので、あらかじめご了承ください。

3. 修理可能期間について

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態･環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっ ても初期精度の復元が困難なときがあります。

4. ご転居・ご贈答品のとき

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられないときには、弊社お問い合わせ窓口（⇒ p.84）にご相談ください。

5. 定期点検（有償）について

安全に永くご使用いただくために、2 ～ 3 年に一度、点検（有償）を行ってください。
防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。
必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。
部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理をする必要があるときもありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口（⇒ p.84）にご相談ください。

6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い

上げ店または弊社お問い合わせ窓口（⇒ p.84）にご相談ください。

※この時計の全てのアフターサービスは「メーカー修理」となります。弊社以外でのアフターサービスに関しては一切責任を負いかねます。

仕様

本体

機種名	W71*
水晶振動数	32,768Hz / 18.4320MHz （Hz=1 秒間の振動数）
時計作動温度範囲	0℃～ +50℃
時間精度	平均月差 ±30 秒 （常温 +5℃～ 35℃携帯時）
使用電池	二次電池
充電方式	電磁誘導式
動作時間	フル充電～充電警告まで ・携帯電話と接続時　約 5 日間 ・携帯電話と非接続時　約 30 日間 充電警告～時計停止まで ・約 1 日間 ※持続時間の動作条件については「充電する」（⇒ p.28）をごらんください

充電器

機種名	CMUT-06
使用・保存環境	温度 +10℃～ +40℃ 湿度 20% ～ 80%（結露なきこと）
電源	DC12V（AC アダプタ使用）
サイズ	幅 6.5cm× 奥行 7.5cm× 高さ 10.3cm
本体重量	約 98g（AC アダプタを除く）

専用 AC アダプタ

機種名	DSA-0051-12C FJP 12013F
使用・保存環境	温度 +10℃～ +40℃湿度 20% ～ 80% （結露なきこと）
電源	AC100V ～ 240V
サイズ	幅 3.0cm× 奥行 5.4cm× 高さ 4.0cm
本体重量	約 70g

お問い合わせ窓口

修理に関するご相談は

シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係
TEL：0120-977-867
受付時間：9：30 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00（祝日を除く月～金）
〒 120-0004　東京都足立区東綾瀬 1–14–1

その他のご相談は

シチズンお客様時計相談室
TEL：0120-78-4807
受付時間：9：30 ～ 17：30（祝日を除く月～金）
URL：http://citizen.jp/

東京サポートサービス　Tel. 03-6327-3894
〒 164-8726　東京都中野区中野 5-68-10 シチズン中野ビル 2F
大阪サポートサービス　Tel. 06-6252-1432
〒 542-0081　大阪府大阪市中央区南船場 3-8-9